

大川の滝

宮浦小学校

五年

日高

叶愛

私の住んでいる屋久島は、一九九三年十二月十一日に青森県にある白神山地とともに日本ですべて初めての世界遺産として登録された。世界遺産ということもあり、これまでに多くの観光客が訪れている。観光客は屋久スギランドや縄文杉などの登山をはじめ、大川の滝や千尋の滝について取り上げる。

一つ目は、大川の滝である。大川の滝は、屋久島に存在する滝では水量きぼとも最大のきぼをほこっている。また、「日本の滝百選」にも選ばれている。九州一の高をほこるハハメルトルの断崖から、ごうかいな水しぶきを上げてすべり落ちる様子はダイナミックであり、水量に圧倒される。滝の下には、滝っほ」という水たまりがあり、近くまで歩くことが可能なため、滝のマイナスイオンを全身で感じられることが一番の魅力だ。私は考える。二つ目は、千尋の滝である。滝はモツク

山岳のすその巨大な花こう岩の岩ばんを川の水の流れによつてけずられたことでそう大きなV字谷の景観が作り出されたものである。滝の落差は、約六〇メートルであり大川の滝と比較するの低い。雨がふった後の増水して、いるときの迫力や独特な形が、みかであるところをえら。また、以前は遠目からしかながめることが出来なかつた。近年は遊歩道が作られたことで、滝から二〇〇メートルの距りにあるつり橋まで近づけるようになり、今までにならぬほどのダイナミックであられる千尋の滝を見られるようになった。私自身まだ行けていないが、ぜひ行ってみたいと強く思っている。私は、この二つの滝は、晴れの日と雨の日で迫力がことなるため、二つの表情がみられる。ことが多くの人をいやし、落ち着くことが出来る場所であると感じる。特に、夏は気温が高くと、熱く外で出ることが苦痛に感じるが、涼しさを求めるために足を運び、写真に収めて学校でつかれたときなどに見返して力に変

えていきたい。また、これから先も多くの人  
に訪れてもらえるようにかんきょうにも気を  
つけていきたいです。